

スポーツ少年団サッカー部で育む、かけがえのない繋がりと成長

焼山ジュニアスポーツクラブサッカー部 幹事長 田上 直人

「最近、子供とのコミュニケーションが減っていると感じる」という保護者の声や、「習い事の保護者付き合いは、一定の距離を置く方がストレスなく続けられる」との意見が聞かれるなど、子供の習い事を取り巻く環境は変化しています。また、コロナ禍を経て、人と人との繋がりやコミュニケーションの機会が減少していると感じる方も少なくないのではないのでしょうか。しかし、スポーツ少年団所属の焼山ジュニアサッカー部には、こうした時代だからこそ大切にしたい、素晴らしい価値があります。

焼山ジュニアサッカー部は、子供たちがスポーツを通して心身を育むこと目的とした社会教育団体です。参加するメリットは、運動能力の向上や健康的な体づくり、協調性やチームワークが自然と身につくことなどが挙げられます。さらに、スポーツ少年団の大きな魅力は、子どもたちだけでなく、保護者同士の繋がりも育める点です。練習や試合を通じて子供の成長(運動能力向上、協調性、礼儀、自立性、知能力)を間近で見守り、喜びや感動を共有できます。

保護者の方々には、子供たちの送り迎えや役員など、運営面での協力をお願いすることもあります。しかし、それは決して煩わしいだけの負担ではありません。他の保護者との交流を通して、子育て情報を共有したり、地域貢献を実感したりと、得られるものもたくさんあります。小学生という多感な時期を、仲間と協力し、目標に向かって努力するサッカーを通して、親子で共に成長できる。そんなかけがえのない経験が、焼山ジュニアスポーツクラブサッカー部にはあります。

ぜひ、一度見学、体験にいらして下さい。私たちと一緒に、子供たちの、そして自身の素晴らしい子育て期間を、サッカーを通してより豊かなものにしていきましょう。